

公開 この印の付いている箇所は公開させていただきます。

第1号様式（一部公開）

年 月 日

（あて先）

公益財団法人名古屋まちづくり公社理事長 様

団体名 **都市センターまちづくりの会**

代表者 **山田 太郎** 印

まちづくり活動助成申請書

（地域“魅力”アップ部門 “はじめの一步”部門）

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

当団体のまちづくり活動について、名古屋都市センターまちづくり活動助成金交付要綱による助成を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 申請者・連絡先

連絡の取り易い場合、
携帯電話番号でも結構です

公開 団体名	ふりがな としせんたーまちづくりのかい			都市センターまちづくりの会	
	申請者 (代表者) 氏名	ふりがな	やまだ たろう	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
		山田 太郎	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
			E-Mail	XX@NUI.OR.JP	
		〒〇〇〇-〇〇〇〇		年齢	〇〇歳
連絡先 (注)	ふりがな	とし たろう	Eメールでの連絡がありますので、 出来る限りご記入ください。		
	氏名	都市 太郎	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
			E-Mail	◆◆@NUI.OR.JP	
	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 名古屋市中区XX町1-1		年齢	〇〇歳

連絡者は責任もって対応できる方をお願いします。
また、変更があった場合は速やかに連絡ください。

（注）連絡先は、名古屋都市センターからの連絡先が申請者と異なる場合ご記入下さい。

5 団体の会員（市内在住または在勤、在学者の方のみ記載ください）

	氏名	住所（区まで）		年齢	提案活動における役割
①	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	全体責任者
②	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	活動A担当者1
③	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	活動A担当者2
④	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	活動B担当者
⑤	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	活動C担当者
⑥	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	会計
⑦	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	広報
⑧	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	
⑨	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	
⑩	〇〇 〇〇	自宅又は 勤務場所 在学場所	〇 区	〇〇歳	
会員が10名以上だと分かる「会員名簿（住所は区まで記載）」がある場合は、別紙にて提出することもできます。					会員数 〇〇名

6 現在協力関係にある他団体、企業、行政の部署がある場合には、その名称と協力している内容を記入してください。

名 称	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇区役所 ・△△△△の会 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくり活動に関する協働した取り組み ・〇〇の清掃活動

※第1号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動提案書

（ 地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門 ）

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団 体 名	都市センターまちづくりの会		
提 案 名	〇〇地域のみんで一緒にまちをつくる～つながりと自慢づくり～		
提案活動を行う地域	〇〇区××町周辺	← 名古屋市内に限ります	
提案の背景	(活動を提案するに至る問題・課題などの背景を、簡潔にご記入ください。) ・地域の住民同士が共に活動することが少なく、つながりが希薄。 ・地域で自慢できるものが無く、住んでいるまちが誇れない。 ・地域とつながりが薄い老人世帯が多い。		
提案活動の目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください) ■ 目的 地域住民のつながりを深めると共に、住民が愛着の持てるまちをつくる ■ 目標 ワークショップを開催し、〇〇人以上の高齢者の参加を目指す。 ■ 成果 住民同士の新たなまちづくりの取り組みが生まれる。		
提案の内容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) (活動A) ワークショップの開催 地域にどんな歴史や文化、魅力があるかを発掘し、地域にひらかれた広場の案を検討する。 ・地域の歴史や文化に関する学習 ・地域を散策し、魅力的な点を発掘 ・広場案の検討 (活動B) 広報紙の作成 住民がワークショップに気軽に参加してもらえたり、ワークショップに参加した住民のふりかえりや参加出来なかった住民へのフォローとして活動の広報紙を作成する。 (活動C) 広場の整備 ワークショップを通して知った歴史・文化や魅力、住民から出た意見を踏まえて、住民と一緒に広場を整備する。		
※「まちづくり活動提案書」の文字の大きさは10.5ポイント程度で記入してください。この活字が10.5ポイントの大きさです。			
活動期間	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月	助成金交付申請額	34万円

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none">・地域に根ざしたまちづくり活動内容か・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か・地域との連携や協力が得られる活動か・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域への愛着や誇りを持つには、普段知る機会が無い地域の歴史や文化、気にかけて注目することが無い地域の魅力を発見する機会をつくる必要がある。・住みよいまちづくりには、地域住民のつながりや特に高齢者と若手住民の間のつながりが必要であり、そのため皆が気軽に参加できるイベントとしてワークショップを提案する。	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none">・創意工夫にあふれた活動か・地域性を活かした個性豊かな活動か・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none">・この地域には〇〇という歴史や〇〇というイベントがあり、それを活かすことで、この地域だけのオリジナリティあふれる成果が出来る。・広場などをつくる際は施工業者やコンサルタント、行政に任せるのが一般的であるが、住民主体でデザインなどをゼロから考えることで、地域の特色を出すことができる。	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none">・提案内容が具体的にになっているか・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か・場所や人員、規模などは妥当か
<p>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none">・自己資金については、〇〇株式会社などの地域で営業されている会社から、活動に賛同してもらい、協賛金をいただくこととなっている。・活動に係るメンバーは提案書提出以前から役割を分担し、既に各活動に実施に向け準備を進めている。・広場の整備場所は、民間の空地を利用する。地主とは土地の利用に関して、内諾を得ており、〇月に合意書を締結し、場所を確保する予定である。	
<p>簡条書きにするなど、簡潔に分かりやすくご記入ください。</p>	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
<p>(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の活動をキッカケに、地域で活動すれば自分達の手で住みやすい魅力的なまちに変わっていくことを実感し、高齢者世帯でもまちづくり活動に参加する方が増えると予想される。 ・成果となる広場は、住民で定期的に維持管理しつつ、広場で地域行事を今後行うなど、地域住民が集う憩いの場として活用を検討している。 ・今後、地主と相談し、広場にはベンチ設置や花を植える計画している。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>参考資料は、 「“はじめの一步”部門」部門でも添付できます。</p> </div>	
審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事をし、継続的に維持管理する能力があるか
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。 ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。</p> <p>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での防災訓練を長年継続的に行っており、無理なく身の丈に合わせた活動を進めている。 ・当地域は近年、地域のつながりを深めるため、高齢者が気軽に集まれるカフェを住民の庭先を利用して始めている。 また、子ども達を呼んで、昔の遊び体験などをしながら、少しずつ活動を広めている。これらの実績は今回の提案活動内容と密接につながる活動である。 	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇区役所 ・〇〇 〇〇さん(地主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案活動に関する調整・周知 ・■月〇日 広場の整備に関する打合せ

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

提案活動の実施スケジュール

- ・ イベントや調査の実施日だけでなく、それに向けた準備についても具体的に記入してください。
- ・ 1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
〇〇	4	活動A	活動の進め方について打合せ
	5	活動A	第1回ワークショップの内容について打合せ
	6	・活動A ・活動B	・第1回ワークショップについて打合せ ・広報紙1のデザイン検討
	7	・活動A ・活動B	・第1・2回ワークショップの内容について打合せ ・広報紙1の印刷、配布、参加の呼びかけ
	8	・活動A	・ワークショップ第1回目開催 ・広報紙2 ワークショップ第1回レポート作成・配布
	9	・活動A ・活動B	・第2・3回ワークショップの内容について打合せ ・広報紙3のデザイン検討
	10	活動B	・広報紙3の印刷、配布、参加の呼びかけ
	11	・活動A ・活動B ・活動C	・ワークショップ第2回目開催 ・広報紙4 ワークショップ第2回レポート作成・配布 ・広場整備ワークショップの打合せ、準備
	12	・活動B ・活動C	・広場のデザイン検討 ・広場整備ワークショップの打合せ、準備
	〇〇	1	・活動B ・活動C
2		・活動B	・広報紙6 広場完成のレポート作成、印刷、配布
3		活動実績報告書提出	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

提案活動の収支予算書

1 支出

提案活動における

地域“魅力”アップ部門のまちづくり活動助成金は、総支出合計の4/5 又は 40 万円以下としてください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	数量、人数、単価等を記入してください	対 象	金額 (円)
①まちづくり活動助成金				344,000
①の内訳	諸謝金	広報紙の作成	デザイン料 6回×1名×5,000	30,000
		広場整備ワークショップ	専門家 2名×15,000	30,000
	印刷費	広報紙印刷	100枚×6回	45,000
	消耗品費	ワークショップ	模造紙、ふせん、色紙等 一式	34,000
	その他経費	広場整備ワークショップ	参加者催事保険：50名 基礎工事：掘削、コンクリート工事	5,000 100,000
		工事を伴う活動項目に○を付けてください。	○ ○	100,000
②自己資金				96,000
②の内訳	諸謝金			20,000
	消耗品費	広場整備ワークショップ	手袋、ゴーグル等 一式	15,000
			参加者 飲料水	3,000
	賃借費	ワークショップ	会場使用料 2回×15,000	30,000
			会場備品リース代 2回×2,000	4,000
		広場整備ワークショップ	会場使用料 1回×15,000	15,000
			会場備品リース代 1回×2,000	2,000
その他経費	ワークショップ	講師昼食代、飲料水	3,000	
	広場整備ワークショップ	専門家昼食、飲料水	3,000	
		スタッフ催事保険料	1,000	
③総支出合計				440,000
①+②				うち、工事費に係る経費の計 200,000

2 収入【地域“魅力”アップ部門のみ記入】

提案活動に充当する予定の収入をご記入ください。

費目	内訳・算出根拠	金額(円)
①まちづくり活動助成金		344,000
⑤自己資金		96,000
⑤の内訳	独自の財源 会費、寄附、協賛金等	会費・寄附 30,000 企業協賛 21,000
	本活動による収入 材料費、資料代等	ワークショップ 2回×300円×50名 30,000 広場整備ワークショップ 1回×300円×50名 15,000
⑥総収入合計		440,000
①+⑤		「③総支出合計」と「⑥総収入合計」が同じ金額になるようにしてください。

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。

自己資金には、他の助成金を含めることはできません。

参加費等を徴収する活動がある場合は、1人/回あたり 1,000 円以下であること。その他の条件は「応募の手引き」を参照。